

『エエ町、江差。人の心を思いやる町』

「北海道には梅雨はない」と言われますが、道南に住んでいれば「そんなことはない」と思う方も多いでしょう。近年は、とりわけその思いが強く感じられます。

10日以上も青空を見ない日が続きましたが、目に染みるような青さとともに、本格的な夏がやってきました。やっぱり青い空は気持ちが良いもので、心の中いっぱい爽やかさが広がります。しかしながら、暑いものは暑い。ここ数年、エアコンの普及が急速に進んでいる状況が、温暖化をはっきりと示しているように思います。

「夏は暑いのが当たり前！」小中学生の頃の私は、毎日朝から晩まで海にいました。「雨の日の方が海の水がぬるい」という仲間内の共通認識のもと、波が高く赤旗が揚がる以外は、雨でも泳げない日ではありませんでした。昼飯は、泳ぎに行く前に焚火の下にセットしておいたじゃがいもでした。空き缶で煮て食べた【まるご】も良い出汁が出て美味しかったと記憶しています。今食べたらどう感じるのでしょうか。【まるご】は、カラス貝とも呼んだり、大きくなったものは【ひろけ】とも言っていました。明らかに方言ですが、当時は方言という概念はありませんでした。今になって調べてみましたが、どうやら【ムラサキガイ】という貝のようです。小3の夏に泳げるようになりましたが、それまでは「ウニのへっちょを食べると泳げるようになる」と言われ、信じてがりがりと食べました。もちろん効いたとは思えません。川尻には加工場からのイカゴロの混じった排水も流れ込んでいた記憶があります。帰宅時には川に入って体の塩水を洗い落としましたが、その水の冷たかったこと。そんな生活でしたので、休みの終わりには溜まった宿題に追われ、海にも行けず悔しい思いをしました。その後、苦しく悔しい思いを少しは学習し、休みの始まる前から休みの始めにかけて宿題を極力終わらせるように努めました。

2学期が始まっても暑い日は続き、心が海に奪われながらも教室にいました。「暑い！」と、口にする私たちに、「暑い暑いと言うな！言うからもっと暑くなるんだ！」と活を入れる担任の先生。下敷きでパタパタ仰いでいると、「仰ぐと顔は涼しく感じられるが、筋肉で熱が作られるので体は暑くなる。だから授業中にパタパタするな。」と冷静に話す理科の先生。2階の教室の温度が30度を超え、校長先生が「今日は暑くて勉強にならないから午後からは下校！」と言い、放課になったことが一度だけありました。

話は変わって、私ごとではありますが、健康診断で指摘された血中脂肪の多さと成長する腹囲の対策を意識し始め、町の運動公園に出かけています。そこで、ウォーキングやランニングをしている方々が多くいることを知りました。国道をランニングしている方々も結構見かけます。生涯にわたって自分の健康を意識し、維持増進に努める姿勢は、身に付けたい大切な力だと思います。気温の上昇に伴い、熱中症が心配される状況になってきたことで、運動している方々のマスクが気になりました。自分でもマスクの息苦しさを感じています。

6月10日付で学校に通知された文書には『体育の授業や運動部活動の活動中、登下校時の場面においては、熱中症のリスクが特に高いことが想定されることから、熱中症対策を優先し、児童生徒に対してマスクを外すよう指導すること。』と記されています。熱中症予防のためには、立ち止まり集まって話をする時以外は、マスクを外してウォーキングやランニングした方がよい

かと思います。厚生労働省のホームページにも、屋外で距離が保てる場合や人とすれ違う時は、マスクは必要なしと示されています。しかし、どうしても気になるのが、『周りの人はどう見ているのかな?』という思いです。そこで必要なのは、「熱中症予防のため外でマスクをしていないのは仕方ないな。」と思える心と「距離が近いから気にするかな。すれ違う時だけマスクをつけるか。」と思える心。お互いを気遣う心を持てることだと思います。

先日の大雨の際、避難所には多くの方が避難されました。避難場所となった江差高校では、生徒や職員のみなさんも設営に協力して下さいました。緊急な事態に対応し、役場職員は庁舎内に人影がなくなるほど出払い、避難場所の開設や避難補助、物資輸送等に対応していましたが、飲み物や食べ物、毛布などの供給が行き届くまでに時間がかかった場所もありました。避難された方々に、必ず届く物資の到着まで、飲み物など何も持って来られなかった方への配付を優先し、持参したものがあの方には少しの間待っていただく旨のお願いがアナウンスされました。その際、避難されたどなた様からも何の文句が出ることもなく、逆に担当者を労い励ます声をかけていただいたと聞きました。こんな気遣いや思いやりのある町『工工町、江差。』を誇りに思います。

夏の暑さは、これから更に加速していくものと思われます。子供からお年寄りまで、町民のみなさま誰もが熱中症にかかることなく、必要以上にコロナに怯えたり不安にさせたりすることなく、短い夏を楽しく健康に過ごせることを願うばかりです。